

法人支援理念：居場所となる集団での仲間意識を深め、その中で自信を持って過ごし、かつ他人を尊重し、社会に寄与する人材を育成します。

事業所支援方針：1) 児童の感情に寄り添い、非言語的コミュニケーションをも活用し、笑顔などにみられる快の感情を多く表出させ、行動意欲を高め、発達の原動力を強めます。
2) ABAなどの発達心理技法を使い、日常生活動作等の技能向上を目指します。
3) 事業所を清潔にし、笑い感謝が自然に起こる環境づくりを目指します。

●運動・感覚

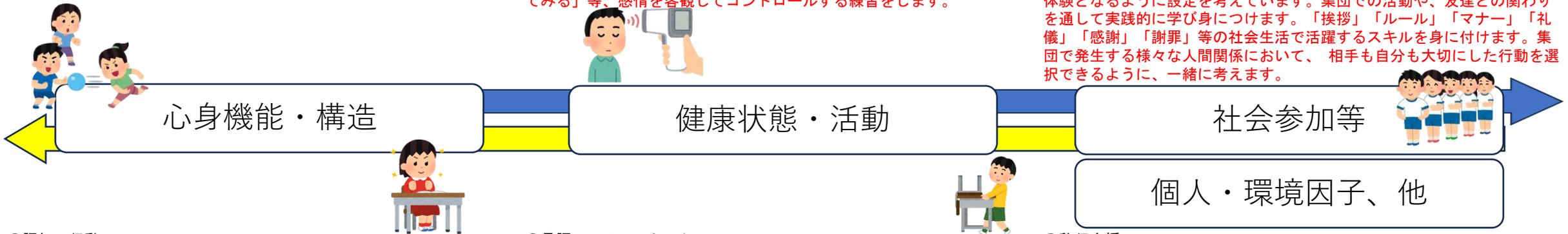
(児発) 運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感覚に触れ、感覚の成長を支援します。体の感覚は、力加減や、体の動きをコントロールするだけでなく、気持ちやテンションのコントロールにも役立ちます。体操、ストレッチ・音楽療法の活動にも含まれます。
(放デイ) 「緊張」「弛緩」など身体のコントロールをする練習をします。また、体の感覚や様々な感覚に触れ、感覚の成長を支援します。体の動きをコントロールできると、気持ちや、テンションのコントロールへも役立ちます。体操、ストレッチや音楽療法も含まれます。

●生活・健康

(児発) 健康状態の維持や改善、基本的生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援方法を考えます。睡眠、食事、排泄を身に付ける方法を行い、食育により食を営む力の育成と楽しい食事への配慮(感覚等)、支援(咀嚼、嚥下、姿勢保持等)します。遊びの中や日常の学習の機会を利用した支援、環境配慮を工夫します。
(放デイ) 年齢が上がるにつれ、身体にも変化が起き、心に起きる葛藤が難しくなります。頭ではどうすべきか分かっていても、プライドや不安など、複雑な気持ちに混乱して行動に移せない、切り替えができないがあります。「気持ちに名前を付ける」「強さに段階を付ける」「絵にして描いてみる」等、感情を客観してコントロールする練習をします。

●人間関係・社会性

(児発) SST(ソーシャルスキル) = 社会性技術訓練と言われる支援です。(児発) SST(ソーシャルスキル) = 社会性技術訓練と言われる支援です。社会に適應する為に必要なスキルを支援します。また、「感情に気付く」「感情に名前を付ける」「対処法を考える」等、気持ちのコントロールを練習します。また、癩癩やストレスが強い状態の時には、子どものペースに合わせて関わり、ストレスを発散する方法を考え、クールダウンができる環境設定にします。
(放デイ) ソーシャルスキルの習得を目指します。ソーシャルスキルを使用すると、「やって良かった」「楽しい」と自己肯定感が感じる等、良い体験となるように設定を考えています。集団での活動や、友達との関わりを通して実践的に学び身につけます。「挨拶」「ルール」「マナー」「礼儀」「感謝」「謝罪」等の社会生活で活躍するスキルを身に付けます。集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切にしたい行動を選択できるように、一緒に考えます。



●認知・行動

(児発) 特性に合わせて、「どのような方法」「環境の設定であれば円滑にできるか」を模索し、支援します。また、「着席」「大人をよく見る」「少し嫌なことへも頑張ってみる」等課題に向く姿勢、力をつくよう支援します。頑張ると「楽しい」「やってよかった」と達成感を感じるように関わり方や内容を工夫します。
(放デイ) 「着席」「注目」「傾聴」「チャレンジ精神」「挑戦」等、課題に向かう、学習の姿勢や待つ姿勢を支援します。自己肯定感を上げて「頑張ってたかった」と感じるような関わり方や内容を工夫します。また、情報を適切に処理したり、コミュニケーションの難しさから生ずる行動の方法を考えます。また、何もない、暇な時間が辛く感じるお子さんもあります。待つ時間や余暇の過ごし方を一緒に考えます。

●言語・コミュニケーション

(児発) 「要求」「報告」「傾聴」「模倣」「観察する」等、自分も周囲の人も大切にコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカードなどの視覚的支援を用いて、子どもに合った方法を考え支援します。
(放デイ) 「要求」「報告」「傾聴」「模倣」「観察する」等、自分も周りも大切にコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカードによる視覚的支援を用いて、子どもに合った方法を一緒に考えます。暴力や、暴言など、社会的には不適切とされる行動も、子どもにとっての何らかの問題に「対処している行動」と捉えることができます。どんな問題に対処しようとしているのか、丁寧に観察しつつ、社会的にも適切な行動を考えて工夫して支援します。

●移行支援

地域の幼稚園・小学校への進学を視野に、通えるための総合的な技能を習得させるとともに、通学(通園)後の施設との連携を図ります。

●地域支援・地域連携

地域資源である大型公園や児童センター等に行き、地域の児童や散歩に来ている幼稚園等の児童と交流を行います。

●家族支援

保護者のレスパイトのための平日祝祭日も療育を実施し、療育の領域に範囲内における、保護者の面接等を行います。

●職員の質の向上

児発管・心理指導担当職員を中心に、療育技術向上の研修を行います。

●主な行事

夏祭り(8月)・クリスマス会(12月)・春の遠足(4~5月)